

三心を磨く

学校だより NO. 26
平成29年11月14日(火)発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

地域体験講座・アズマデー発表会～生徒の学びの姿より～

11月9日(木)はアズマデーと題して、午前中は「地域体験講座」、午後は各学年の「発表会」が行われ、とても充実した「1日総合」の時間となりました。

地域体験講座は、昨年度まで「東祭」の中で行われていましたが、今年度は60周年記念式典が重なったため、この時期となりました。今年度3回目のアズマデー、今回は「地域体験講座」として、6つの講座が開設され、全校生徒が「縦割り」で取り組みました。その6つとは…



①「サバイバル炊き出し」体験
*野外でハイゼックスを利用して炊飯する方法を体験し、災害時の考え方を学ぶ。

②「ブラインドサッカー」体験
*目の見えない人の立場でサッカーを体験し、福祉の考え方を学ぶ。

③「異文化交流」体験
*須坂市を訪れている様々な国の人との交流を体験し、異文化理解の考え方を学ぶ。



④「伝統的玩具作成」体験
*日本の伝統的玩具の竹トンボづくりを体験し、ものづくりの考え方を学ぶ。

⑤「伝統的楽器」体験
*日本の伝統的楽器の琴や尺八を体験し、日本人の伝統的な考え方を学ぶ。

⑥「縄文文化」体験
*縄文時代の生活の一部を体験し、古代人の考え方を学ぶ。

1つの講座には30名前後が参加し、全講座において本校で大切に考えている「縦割り」(1年生から3年生までのすべての学年の生徒が入る)による活動が展開されました。講師の先生方のご指導はもちろん、年長者の3年生から1・2年生への指導もみられ、とても微笑ましい場面でした。こうした学び合いは、今、とても求められている姿ですので、これからも大切にしていきます。

また、この体験を通して、生徒たちの「笑顔」はもちろんですが、講師の皆さんの「笑顔」がとても多く見られました。その姿がとても素敵であり印象的でした。ありがたかったです。

なかなか忙しい中学生ですが、地域の方々のお力をお借りしながら学びを深めていきたいです。

そして、午後に行われた「アズマデー発表会」は、4月からの「総合学習の発表の場」、生徒たちの「アウトプットの場」として設定されました。

1年生は「知る」をキーワードに学習を進め、職場見学の様子や長野県短期大学馬場先生に学んだ哲学対話、そして福祉施設（グリーンアルム）に訪問し、高齢者の方々と歌やゲーム、手作りの絵手紙を渡すなどの交流を行ったことなどを発表し、職場見学で知ったこと、福祉施設で学んだ施設の役割やそこで生活する方々について自分たちの言葉で語りました。



【自分が知ったことをアウトプット！】

2年生は、2回（合計4日間）行った「職場体験」をする中で、仕事に向き合い、自ら「体験する」ことをキーワードに「職場体験」に挑んだ結果について「PDCAサイクル」に準じた学びや体験の足跡を発表しました。生徒たちの発表では、「職場で学んだことは、仕事のことでだけでなく、人生そのものだった」「自分の悩みについて、真剣にこたえてくださった」など、職場体験という学習のもつ懐の深さも話されました。

そして3年生は、「考える」をキーワードに1学期から取り組んできた「講演会」や様々な「福祉活動」（あいサポート研修・車いす体験 高齢者疑似体験・手話サークルの方々との交流や手話体験など）を通して、これからの自分の役割や自分らしい生き方を考える学習となったことが報告され、最後に「花は咲く」の歌を「手話」を交えて発表しました。感動を呼ぶ、素晴らしい手話と歌でした。



【職場体験学習で学んだことを発表】

今年度、本校は総合的な学習を中心として取り組んだこれらの活動が評価され、今年度、長野県内小中高等学校で唯一の「あいサポート団体認定」されましたが、どの学年もそれに値する活動を積み重ねてきたことが伝わる発表会となりました。

生徒たちの感想には「各学年、どこの発表も良かった」「すべての学年が、一生懸命発表できた」「3年生の手話と合唱、そして『花は咲く』の歌詞に感激した」「来年は自分たちの番、職場体験学習が楽しみになった」「障がい者や高齢者の皆さんとしっかりかかわりたい」などがありました。来賓の皆様も一同に生徒の学びを賞賛して下さり、来年度以降も自信をもって取り組んでいくことができそうです。生徒たちの素敵な学びの様子、来年度は今年以上に保護者の皆様のご参加がいただけたらと思います。よろしくお願いたします。



【3年生全員による「手話」そして合唱『花は咲く』】

「速報！」第66回長野県縦断駅伝競走へ3名が選抜されました！東中旋風を期待します
今週末18・19日に行われる県縦断駅伝競走の「須坂上高井チーム」に、本校陸上部、竹前光哉君、竹前星汰君、湯本ななみさんがエントリーされました。皆さん、ご声援ください。期待しています！

